

あいさい 通信

発行：あいさいボランティアガイドの会 編集：若山

愛西市森川町井桁西 27 愛西市観光協会内

電話：0567-55-9993

木曾・長良・揖斐川



『日本の山を数えてみた(山と渓谷社・2015年)』という本に、日本には約18,000座の山があると書かれているので、日本にはいくつの河川があるか?…。インターネットで調べてみましたが、河川数は不明でした。しかし、国土交通省ホームページ『日本の川』(*注)に興味深いデータがありました。河川法

が適用される河川として、「平成17年現在、一級水系として109水系が指定されており、一級河川は13,994河川が指定され、また、二級河川は、7,090河川が指定」されているようで、河川数は山の数よりはるかに多いようです。

専門用語は、国土交通省ホームページの説明を読んでいただくこととし、ホームページには、木曾川は、一級水系である木曾川水系の本川であり、その源を長野県木祖村の鉢盛山(標高2,446m)に発し、飛騨川などと合流し、愛知県犬山市で濃尾平野に出て、長良川と背割堤を挟み併流南下し、三重県桑名市で伊勢湾に注いでいる流域面積5,275k㎡、幹川流路延長229kmの河川と表記されています。木曾川の幹川流路延長は全国7位です。

長良川は、岐阜県郡上市の大日岳(標高1,709m)に発し、三重県桑名市で伊勢湾に注いでいる流域面積1,985k㎡、幹川流路延長166kmの河川。揖斐川は、岐阜県揖斐川町の冠山(標高1,257m)に発し、三重県桑名市で長良川を合わせ伊勢湾に注いでいる流域面積1,840k㎡、幹川流路延長121kmの河川です。ただし、長良川も揖斐川も木曾川水系とされ、木曾川水系としての流域面積9,100k㎡は全国5位です。

さらに、揖斐川の流域面積1,840k㎡、幹川流路延長121kmという数字を比較すると、他の一級水系(一級水系の本川)である三河湾に流れ出す豊川、矢作川、伊勢湾に流れ出す庄内川、鈴鹿川、雲出川、宮川よりも揖斐川の方が大きく、国内有数の大河と言えます。

<*http://www.mlit.go.jp/river/toukei_chousa/kasen/jiten/nihon_kawa/>

愛西ワンダーワンド探検 下見会

あいさいボランティアガイドの会では、下記日程で「愛西ワンダーワンド(湾処)探検(下見会)」を開催します。この日は、今年名古屋港で最も潮位が低くなる日と予測されており、愛西市を流れる木曾川の水位も最も低くなると予想され、湾処の自然が観察しやすくなります。木曾川の自然や、エコツアーに関心がある方の参加をお待ちしております。

なお、雨天や大雨による増水により中止する場合がありますので、参加を希望される方は、6月13日(水)までに観光協会事務局へお問合せ下さい。また、現地は自然のままの湿地です。毒虫や毒蛇が棲息している可能性もあります。長靴、長ズボン、長袖シャツ、手袋など危険を回避できる、汚れても良い服装で参加下さい。

集合日時：6月15日(金)午後1時

集合場所：東海広場(立田大橋西、木曾川右岸)

内 容：背割堤からのケレップ水制・湾処地形の見学、湾処と幻の堤防の見学

問合せ先：愛西市観光協会(電話：0567-55-9993)

雨にも負けず 八開 春の魅力



5月13日(日)「春の八開 ぜいたく まち歩き」と題した散策会が愛西市中央図書館主催で開催されました。

雨にもかかわらず、約50名の方が八開庁舎に集合し、10時にあいさいボランティアガイドの会メンバーが引率して八開地区南部(二子町・赤目町・鵜多須町他)にある旧佐屋川河川敷跡の野菜畑、マルジマ・コロンブスの碑、赤目町の水屋群などの名所旧跡を巡り、最後に昨年秋にオープンした「いちご夢ファーム愛西」を訪ねました。特に、休憩地とさせていただいた赤目町の国音山一心寺さまには、大変お世話になりました。また、いちごファームで用意されたイチゴにみなさん大喜びでした。当日は、あいにくの悪天候でしたが、みなさん、ずぶ濡れになっても自然豊かな八

開地区の魅力を楽しみ、春の味覚を味わわれたと思います。

また、5月19日(土)には、海部歴史研究会が主催した歴史散策会「藤ヶ瀬を歩こう」が開催され、絶好の散策日和の中、約55名の方が八開庁舎に集合し、海部地区の歴史資料館学芸員のみなさん、あいさいボランティアガイドの会メンバーと共に八開地区北部(藤ヶ瀬町、二子町、鵜多須町他)を散策しました。

全国植樹祭 プレ イベント

5月19日(土)には、愛知県が共催し、愛西市親水公園で県内外から約2千人が参加して「第70回全国植樹祭 1年前記念イベント」が盛大に開催され、メインアリーナでは「あいさいさん」も参加した式典の最後に岡村孝子さん作詞作曲による来年の植樹祭テーマソング『と・も・に』が初披露されました。また、午後からは、市民も参加して記念植樹が実施されました。



水鶏塚 知っていますか？

知人とお茶をしながらの午後のひととき。知人が『水鶏塚』の小冊子を指さし「何と読むの?」、私「くいなつかと読むけど・・・。」すると、知人は「で、それって な～に?」。

今から300年余り前の江戸時代、この地に「佐屋海道・佐屋宿」があり、多くの人の往来があつて栄えていた頃の話です。俳聖 松尾芭蕉(1644(永保元)年～1694(元禄7)年)は、1694年5月に江戸を發ち、5月25日 佐屋の俳友 素覧(山田庄左衛門)宅に宿泊しました。挨拶吟の達人だった芭蕉翁は、宿の主人へ挨拶の意を込めて、

水鶏鳴くと 人のいえはや 佐屋泊

と吟じました。翁は愛用の「水鶏笛」を常に持ち歩いていましたが、この辺りは藪で木間隠れに水鶏が鳴く非常に閑静な幽地で、翁は水鶏の音が聴きたかったようですが、水鶏の声を聞くことはできなかつたそうです。翌日、佐屋川を下り長島の大地院へ向かいました。

その後、大阪へ。芭蕉翁は「旅に病んで 夢は枯野を かけ廻る」を吟じて3日後の10月18日客死しました。翁の遺言に従って近江国(現・滋賀県大津市)義仲寺(ぎじゅうじ)に埋葬されました。

没後41年後の1735(享保20)年、露川他の門下生達が、翁の「ゆかりの句」を「ゆかりの人達」で「ゆかりの地」に建立した句碑が「水鶏塚」です。このような三拍子揃った句碑は、全国でも指折りの数えるほどしかない貴重なものです。敷地内には、門下生の句碑

露 川 秋を余所にまつや十帰千かへり
奇 潮 色の歳さかふりかくす春の雪
等 亀 蓮の葉にけふ此比に乗らふとは

も立てられています。

愛西市佐屋町の旧佐屋宿跡に道標「くひな塚」があります。そこから南の方向に進むと、現在でも閑静な場所に小さな公園「水鶏塚」があり、地域の方々により綺麗に清掃されており、芭蕉を愛する人達が全国各地から訪れています。みなさんも是非、足を運んでいただき、愛西市内にも古き自慢ができるものがあることを認識して下さい。

なお、記事にある水鶏塚の小冊子『佐屋 水鶏塚のあらまし(佐屋町教育委員会・昭62年)』は、愛西市中心図書館が所蔵しており、館内閲覧できます。 <文:川上>

～ 愛西市周辺の観光 今後の予定 ～

- 6月15日(金) 愛西ワンダーランド探検下見会 於：木曾川背割堤 他
7月14日(土)・15日(日) 蓮見の会 於：森川花はす田
7月28日(土) 尾張津島天王祭 試楽 於：西保町 星大明社 他
7月29日(日) 尾張津島天王祭 朝祭 於：津島市 天王川公園 他
8月12日(日)、8月26日(日) 漁業体験 於：三和港周辺の木曾川

V G 6月定例会の予定

集合時間：6月17日(日) 9時～ 集合場所：愛西市文化会館
内 容：2018年の事業について

◇5月定例会(5月20日(日) 9時～11時、於：愛西市文化会館、34人出席) 議事録

1) 開会

新規会員には委嘱状をお渡しし、入会希望者には傍聴していただきました。

2) 協議事項

- ①「八開中学校校外学習」、「祭りを学ぶIV(愛西市教育委員会主催)」について内容を説明し、対応を協議しました。
- ②「蓮見の会」「漁業体験」「船頭平閘門舟遊び(木曾川文化研究会主催)」について実施内容を説明しました。
- ③愛西ワンダーランド(湾処)探検会について、5月下見の状況を報告し、今後の日程を説明しました。
- ④愛西市立図書館、海部歴史研究会主催 散策会 それぞれの協力状況を報告し、課題を協議しました。

3) 報告事項

- ①木曾三川レガッタの開催状況を報告しました。
- ②第70回植樹祭一年前イベントへの参加状況を報告しました。

4) その他

- ①この秋、西條町の勝軍延命地藏が17年ぶりに開帳されます。関連資料・ご開帳日程を案内しました。
- ②愛知観光VG会総会(安城市) 関連企画、設楽町観光協会主催企画を案内しました。
- ③VG会6月定例会の日程確認、バス研修旅行の参加者確認をしました。また、今後の『あいさい通信』について原稿募集をしました。



あいさいさん